

平成 24 年度 鳥取市生涯学習推進協議会 会議録

日 時：平成 25 年 2 月 15 日（金）13：30～15:00

会 場：文化センター2 階第 2 会議室

出席委員：安藤委員、土井委員、広沢委員、松川委員、林 委員
荒木委員、廣田委員、小山委員、田中委員、武部委員
大西委員、松本委員

欠席委員：山下委員、外川委員、岸本委員、上山委員、野田委員
小林委員

事務局：北村課長、吉田課長補佐、河井主査

※発言内容等について、事務局で一部加筆訂正しています。

会議次第

1. 開 会 13:30
2. あいさつ
3. 協議報告事項
 - (1) 平成 24 年度生涯学習関係事業報告について
 - (2) 平成 25 年度生涯学習関係事業計画（案）について
 - (3) 「鳥取市文化センター」の利用状況について
 - (4) 「鳥取市サイクリングターミナル砂丘の家」の利用状況について
 - (5) その他
4. その他
5. 閉 会 15:00

.....
◎会議概要

1. 開 会・・・進行：北村課長 13:30～
開会の宣言、資料確認。
2. あいさつ・・・土井会長
《土井会長が議長になり、議事を進行》

3. 協議報告事項

- (1) 平成 24 年度生涯学習関係事業報告について

.....事務局説明

【質疑等】

〔委員〕 サイクリングターミナル砂丘の家で行った小学生対象の夏休みの宿泊体験事業では、子どもたちは、どのように集合しているのか。

また、この事業では子どもたちをどのようにサポートしたのか。

〔事務局〕 施設まで保護者に送り迎えをしてもらった。また、この事業実施にあたっては、サイクリングターミナル職員や生涯学習課職員、またボランティアの大学生等が付き添った。

〔委員〕 この施設は「サイクリングターミナル」という名前がついているが、子どもたちがサイクリングに親しみやすいような環境なのか。家族単位の利用もできるのか。

〔事務局〕 近隣にサイクリングロードもあり、家族利用もできる。

(2) 平成25年度生涯学習関係事業計画(案)について

・・・・事務局説明

【質疑等】

〔委員〕 青年団について、現状は何団体なのか。

〔事務局〕 平成16年には5団体あり、団員数も73名だったが、現在は3団体である。

〔委員〕 青年団体の育成については、各地域で苦勞している。

東日本大震災以降、地域での防災意識が活性化しているが、消防団が結成できないところもある。若者を地区活動に取り入れることはなかなか難しい。

〔委員〕 若者を地域に巻き込んでいくきっかけが必要である。

〔委員〕 こども会活動も多くを学ぶことができるのだが、リーダーとなる中学生の参加が少ない。リーダー養成を行うことも必要ではないか。

(3) 「鳥取市文化センター」の利用状況について

・・・・事務局説明

【質疑等】

〔委員〕 立地はよいのだが、駐車場が狭い。市街地だけでなく、新市域からの利用者を考えるとどうしても車の利用者が多くなる。

〔委員〕 この施設は、様々に活用できる施設であると思う。

〔委員〕 利用者数をみると、年間利用者が1500人程度しかいない。米子の児童文化センターなどは、年間利用者数は数万人にのぼる。鳥取市にはこどもの集う場所がない。高齢者から子どもまで集うことのできる施設として考えてはどうか。

〔委員〕 以前、常設展示があった時と今と、こども科学館の利用者数を比

べるとどうなるか。

〔事務局〕 減少している。

〔委員〕 土日など、指導者が常駐して、子どもたちが遊びにくればなにかできるという状況がない。ものづくり道場などで指導者の育成は行われているので、利用者とのコーディネート業務を行うことを考えてはどうか。

〔委員〕 展示室やホールを備えた複合的施設は少ないので、単体で利用するのではなく、施設全体のコンセプトをもち、総合的に学びを支援する施設としてはどうか。

〔委員〕 アンケートの様式を変えて問題点、改善点を明らかにするアンケートを行ってはどうか。

〔委員〕 文化センターの今後のあり方を検討する委員会を組織してはどうだろうか。どのように子どもたちと関わっていくか、どのような施設にするのか、鳥取市がポリシーを持つ必要がある。

〔委員〕 地域には様々な人材が埋もれている状況である。そのような人々が常駐できる場所となればよいと思う。

(4) 「鳥取市サイクリングターミナル砂丘の家」の利用状況について

・・・・事務局説明

【質疑等】

〔委員〕 利用率向上のため、鳥取砂丘や砂の美術館などの観光に自転車が使えそうな工夫してはどうだろうか。また、利用者はサイクリングをする人だけだとか、青少年団体だけといった印象があるのではないかとも思う。山陰海岸ジオパークと連携した宣伝してはどうかと考える。

〔委員〕 サイクリングターミナル単体で独立しており、周辺施設との関連がない。観光面ではその工夫ができるのではないか。

学校では、合宿場所として使えるし、大きな音も出せるので、ただの宿泊施設ではなくなにか付加価値が必要と考える。施設のイメージとして暖かい雰囲気を作り出すことも必要ではないか。

〔委員〕 利用の少ない冬季は料金を下げるのも稼働率をあげる方法と考える。

(5) その他

特になし

4 その他

特になし

以上で協議終了 15:00